

## 第12回 東日本大震災アーカイブワークショップ議事要旨

日 時：令和2年9月2日（水）14：00～16：00

場 所：東北大学附属図書館 1号館2階大会議室およびWebex（Web会議）

出席者：宮城県図書館（\*） 加藤 奈津江、日比 遼太

仙台市民図書館（\*） 星 博之

岩手大学図書館 遠山 正宏

福島大学附属図書館 芦原 ひろみ、門間 泰子、近 裕見子

国立国会図書館 相原 雅樹

防災科学技術研究所自然災害情報室 三浦 伸也、池田 千春

防災専門図書館（防災科学技術研究所客員研究員） 堀田 弥生

東北大学附属図書館 細川 聖二、真籠 元子、永澤 恵美、影山 啓太（事務局）

欠席者：岩手県立図書館 佐藤 奈津子

福島県立図書館 佐藤 真理恵

凡 例：（\*）東北大学附属図書館へ来訪によるWeb会議参加

配付資料：

資料1. 東日本大震災10年アーカイブイベント企画案

資料2. 新型コロナウイルス感染対策用品例（参考）

資料3. 仙台イベント展示検討資料

資料4. 被災地図書館災害アーカイブ担当者インタビューについて

資料5. 宮城県図書館サンプル動画（クラウドより各自視聴）

参考資料1. 第11回 東日本大震災アーカイブワークショップ議事要録・議事メモ

参考資料2. イベント企画に関するML ご意見まとめ

### 1. 開会

議事に先立ち、東北大学附属図書館総務課長の細川より挨拶があった。その後、出席者より自己紹介を行った。

### 2. 東日本大震災10年アーカイブイベント企画について

資料1～3に基づき、東日本大震災10年アーカイブイベント企画について、企画者である防災科学技術研究所より企画案の説明及び議事進行がなされた。なお、本件における議事は、欠席者である岩手県立図書館と福島県立図書館へ後日確認の上、メール審議も含め最終決定とすることが確認された。

資料1～3およびメール審議に基づき、下記の点について検討がなされ承認された。

(1) 開催の実現性について 【資料 1】

- ・コロナ禍の影響を踏まえ、宮城県内の図書館の人員で確保できる見通しのため、開催とする。
- ・開催日時：2月26日（金） 設営準備  
2月27日（土） 10：00～17：00  
2月28日（日） 10：00～16：00
- ・会場：せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア
- ・会場設備として必要な照明については、仙台市民図書館にて検討し結果を報告する。

(2) 開催判断について 【資料 1】

- ・仙台市民図書館へ正式予約の時期、手続きを一任する。
- ・広報内容には中止／延期の可能性を注意書きとして含ませる。開催 2 週間～1 週間前に状況を注視しつつ総合的に判断する。

(3) 中止・延期の判断をした場合 【資料 1】

- ・延期とするが、2021 年中に開催とする。会場確保は仙台市民図書館へ依頼する。

(4) 開催する場合 【資料 1～3】

- ①イベント名：「●万冊が語りかける、東日本大震災～「震災記録を図書館に」キャンペーン～」とする。
- ②広報：県内広報誌の掲載については確認し提案する。広報時期は足並みを揃える。
- ③開催記録：共有アーカイブとして残す。キャンペーンサイトや各機関での公開を検討。
- ④感染予防対策・予算：消毒液等、会場備品で提供可能な物品は活用する。その他各機関から持ち寄りできる物品について検討し、平等な分担を工夫する。

(5) 企画案（メインイベント）詳細について 【資料 3】

- ①レイアウト／②ポスター枚数：案 2 を採用する。  
神戸大学（震災文庫）については、本企画を案内し、希望する場合は参考展示とする。
- ③機関紹介：各機関 A0 サイズ用紙 1 枚分程度の内容も合わせて作成する。ひな形を防災科学技術研究所で用意し提供する。
- ④配布物：各機関で広報・自由配付したい資料類を検討し、配置場所を後日検討する。  
県外の配布希望機関は会場館へ郵送提供する。
- ⑤人員配置：案の通り。

(6) 企画案（集客イベント）詳細について 【資料 3】

- ・集客イベントを実施するかどうか。
  - ・防災科学技術研究所から、各機関や被災地の震災前と震災後の定点撮影写真を並べモニターによるスライドショー表示するのはどうかとの提案があった。必要に応じキャプションを付けるなどし、10年間の変化を見せる。
- 各機関で提供可能な写真を検討する。防災科学技術研究所にてサンプルを作成する。

(7) インタビューについて 【資料 4】

- ・防災科学技術研究所主催の図書館総合展内企画及び各機関での記録資料としての保存の目的とするため、各機関での震災アーカイブ担当者（歴代担当者も可）に Web インタビューを行う。インタビュアーは防災科学技術研究所が担当する。
- ・Web インタビュー環境が用意できない図書館は、用意可能な県内の他図書館に出向きインタビューを実施する。
- ・必要に応じてインタビュアーとの日程調整を行う。物品送付の都合上、1日1機関の実施とする。

(8) 棚写真撮影について 【参考資料 2】

- ・不明点があれば防災科学技術研究所へ相談する。

3. 前回ワークショップ議事内容の確認

事務局より参考資料 1 に基づき、前回の議事内容について、メール審議済みであるが追加意見があれば申し出るよう案内があった。

4. その他

- ・次回ワークショップの日程

事務局から、本ワークショップの次回の日程について、コロナ禍の状況を注視しつつ開催時期を協議の上判断し、同様の Web 会議形式で実施することを確認し、了承された。

以上